

南丹地域商業ガイドライン

平成19年5月31日策定

(平成23年3月16日改正)

(平成31年2月27日改正)

目 次

◆総括	1
-----	---

◆中心市街地エリア

馬堀駅周辺地区の概要	5
亀岡駅周辺地区の概要	7
並河駅周辺地区の概要	9
千代川駅周辺地区の概要	11
八木地区の概要	13
園部地区の概要	15

◆特定大規模小売店舗の誘導エリア

馬堀駅前地区誘導エリアの概要	17
馬堀駅周辺南部地区誘導エリア1の概要	18
馬堀駅周辺南部地区誘導エリア2の概要	19
亀岡駅北地区誘導エリアの概要	21
亀岡駅南地区誘導エリアの概要	22
並河駅周辺南部地区誘導エリアの概要	24

南丹地域商業ガイドライン

1 区域

亀岡市、南丹市、京丹波町

位置図

2 商業まちづくりの基本方向

◆ 地域の概要

人口は約13.7万人、面積は約1,144km²。地域の約83%が森林であり、丹波高原とそれに連なる丹波山地の中に、亀岡盆地、園部盆地、須知盆地など多くの小盆地が存在し、そこに城下町や村落が形成されてきた。

大都市圏に近い南部では、住宅地の開発や企業・大学などの誘致が進み、北部では日本の原風景ともいえる美しい農山村の景観が残されている。

商店街は、亀岡駅前や園部中心市街地など各地に形成されてきたが、商店街振興組合の設立は2団体に留まり、多くは小規模の集積になっている。店舗面積1万m²規模の大型店は、昭和50年開店の西友亀岡店、平成6年開店のアル・プラザ亀岡及びイオン亀岡店がある。また、南丹市の最大規模の店舗は、平成6年開店のベルタウンそのベシヨッピングセンター、京丹波町の最大規模の店舗は、平成9年開店の丹波マーケスである。

◆ 人口・商業集積等の動向

人口は、平成17年が約14.8万人、平成22年が約14.3万人、平成27年が約13.7万人で推移している。

交通網については、京都縦貫自動車道や国道9号等により、多くの地域が京都市から車で1時間圏内に位置している。また、JR山陰本線については、京都駅から園部駅間の複線化事業及び亀岡駅舎改築事業が完了するなど利便性向上が促進されたが、路線バスに頼る地域も多い。

商業統計に見る小売業の年間商品販売額は、平成11年が1,417億円、平成16年が1,218億円、平成19年が1,216億円である。交通利便性が高いことから、京都市等に消費が流出する傾向にある。また、商店街においても、多くの空き店舗が発生するなど厳しい状況が顕在化している。

◆ 地域事情等

平成17年10月に3町の合併により京丹波町が誕生し、平成18年1月に4町の合併により南丹市が誕生、今後のまちづくりについても、亀岡市を含む管内2市1町ごとに総合的な計画が策定され、推進が図られている。

中心市街地活性化については、各地域の特性に応じ、JR山陰本線の整備と合わせた商店街等駅周辺地域の活性化、観光誘客の一層の促進等が期待される。

3 地域内の中心市街地エリア

◆ 馬堀駅周辺地区

概要
位置図

◆ 亀岡駅周辺地区

概要
位置図

◆ 並河駅周辺地区

概要
位置図

◆ 千代川駅周辺地区

概要
位置図

◆ 八木地区

概要
位置図

◆ 園部地区

概要
位置図

4 地域内の特定大規模小売店舗の誘導エリア

◆ 馬堀駅前地区誘導エリア

概要
位置図

◆ 馬堀駅周辺南部地区誘導エリア 1

概要
位置図

◆ 馬堀駅周辺南部地区誘導エリア 2

概要
位置図

◆ 亀岡駅北地区誘導エリア

概要
位置図

◆ 亀岡駅南地区誘導エリア

概要
位置図

◆ 並河駅周辺南部地区誘導エリア

概要

位置図

※「誘導エリア」及び「抑制エリア」

誘導エリアは、特定大規模小売店舗を誘導する（立地可能にする）エリアであり、抑制エリアは、特定大規模小売店舗の立地を抑制するエリアであって、誘導エリア以外のすべてのエリアをいいます。

5 特定大規模小売店舗に求める地域貢献策

◆ 地域のまちづくりへの支援

- (1) 行政や自治会等が取り組む安心・安全のまちづくりへの参画（地域防犯組織への加入及び活動への参加等）
- (2) 交通対策として、交通安全運動への参加・協力とともに交通整理員の配置による安全の確保
- (3) 周辺地域における歩道や街路灯の設置、街路樹等緑化への協力
- (4) 歩いて暮らせるまちづくりへの協力（コミュニティバス運行への協力等）
- (5) 店舗周辺の清掃、放置自転車の整理など環境美化対策への協力
- (6) 災害備蓄など緊急時対応、災害等発生時の物資の供給をはじめ地域との連携、地域消防団活動への参加・協力など地域防災への積極的な協力
- (7) 地球温暖化対策、循環型社会推進への理解と協力
- (8) 良好な景観の形成とともにまちなみづくり等への協力

◆ 地域コミュニティへの支援

- (1) 地域の祭り、花火大会等の伝統催事・恒例行事への協力
- (2) 自治会等の地域団体が行う活動への積極的参加や協力
- (3) 高齢者等に配慮した店舗づくり（ユニバーサルデザインの導入等）
- (4) 青少年健全育成のための行政、学校等の取組への協力
- (5) 店舗内のコミュニティスペース（展示場、会議室、子育て広場等）の確保

◆ 地域の経済社会への貢献

- (1) 地域の商工会・商工会議所、商店街振興組合等への加入及び活動への参加（大型店舗のテナント事業者についても求める）
- (2) 地元雇用、特に安定的雇用の確保や障害者雇用促進への協力
- (3) 育児・介護休業制度の活用促進をはじめ結婚や出産により退職された女性の再雇用など少子高齢化対策への積極的な取組
- (4) 地域内での雇用確保の観点等からインターンシップの受け入れとともに「体験学習」の場を提供するなどの協力
- (5) 地域の地産地消の取組や地域ブランド商品の販路開拓への協力
- (6) 地域の卸売業者との取引促進、地元小売業者のテナント出店への協力
- (7) 核テナント撤退等の早期情報提供
- (8) 食品等の安心・安全の確保など行政の消費者保護の取組への協力

◆ 地域貢献活動担当部署の明確化と設置

6 既存大規模小売店舗の事業者が取り組んでいる地域貢献策

既存大規模小売店舗の事業所は、地域の祭り、花火大会等の伝統催事・恒例行事への協力をはじめ、地域貢献策に一定取り組まれ、成果を上げてきている。

南丹地域においては、今後、本商業ガイドラインで特定大規模小売店舗に求める地域貢献策について、まちづくりの推進のために、既存大規模小売店舗の事業者に対しても求めていくものとする。

7 地域商業ガイドライン策定協議会

<事務局>

京都府商工労働観光部 商業・経営支援課

TEL：075-414-4836

FAX：075-414-4870

E-mail：keieishien@pref.kyoto.lg.jp

京都府南丹広域振興局 農林商工部 商工労働観光室

TEL：0771-23-4438

FAX：0771-21-0118

E-mail：nanshin-no-shoko@pref.kyoto.lg.jp

規約

馬堀駅周辺地区の概要

1 区域



2 中心市街地エリアの現況・特色

駅前地区（駅南側）では、土地区画整理事業が施行され、新たな土地利用が可能となった。駅乗降客は亀岡駅に次いで9,000人/日を超え、市内で京都市に最も近く、平成22年3月には、JR嵯峨野線の複線化事業が完了、平成30年3月には市道北古世西川線が開通し、周辺の利便性が向上している。そうした状況を踏まえ、商業・住宅機能の立地誘導が展開され、都市軸である国道9号沿道には、総合大型スーパー平和堂(アル・プラザ亀岡)が立地しており、商店街も3商店街63店舗（亀岡市商店街連盟加盟）存在する。また、当地区内には、トロッコ亀岡駅等を利用する観光客も多く、観光ターミナル機能の充実も期待される。

（地域の概況については<参考数値>のとおり）

3 中心市街地エリアの総面積

約1,957千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況

無

5 中心市街地エリアの現状と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

馬堀駅前では、土地区画整理事業により良好な市街地整備が進められ、駅前広場や道路などの基盤施設の整備に伴い交通結節点機能が充実し、きめ細かな市街地環境の整備のために地区計画を定めている。市内で京都市に最も近く、平成22年3月には、JR嵯峨野線の複線化事業が完了、平成30年3月には市道北古世西川線が開通し、周辺の利便性が向上している。そうした状況を踏まえ、馬堀駅前から本市の都市軸である国道9号を中心に商業機能集積や利便性の高い住宅機能の立地を促進し、観光資源を有効に活用することで交流と利便性を充実させていくとともに、既存の住宅地にあっては、商店街組織との連携を図りつつ、にぎわいを創出し、地域の活性化を図る。

<参考数値>

◇ 人口

現状（平成27年国勢調査人口）

18,691人

◇ 若年者人口

現状（平成27年国勢調査人口10～24歳）

2,558人

◇ 事業所数

現状（平成26年経済センサス）

510所

◇ 従業者数

現状（平成26年経済センサス）

5,227人

◇ 主要駅の乗降客数

現状（平成27年京都府統計書（平成29年刊行）、年間鉄道乗車人員）

9,490人

6 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

亀岡駅周辺地区の概要

1 区域



2 中心市街地エリアの現況・特色

当地区は本市の玄関口として、歴史・文化・商業・観光など高度な都市機能の集積がみられる。地区内には西友、イオン等の延床面積1万m²を越える総合スーパーや10商店街196店舗（亀岡市商店街連盟加盟）を有し、市内屈指の商業集積力を示している。地区内には、亀山城址や年間約22万人の観光入込客を数える保津川下りといった観光資源を有する。JR亀岡駅の1日乗降客数も18,000人近くを数えている。平成22年3月にはJR嵯峨野線の複線化事業が完了、平成27年7月には京都縦貫道全線が開通し国土軸の名神高速道路や舞鶴若狭自動車道路と接続し、京阪神・中京エリアと直結するなど周辺の利便性が飛躍的に向上している。そのような中、平成26年からは亀岡駅北土地区画整理事業による都市基盤の整備が進められている。また、事業区域内では京都スタジアム（仮称）の整備が平成31年度末の完成を目指して進められており、本市・南丹地域の中心都市核として、駅北地区の良好な市街地整備とあわせて、商業・業務機能の集積によるにぎわいの創出と地域の活性化が期待されている。

（地域の概況については＜参考数値＞のとおり）

3 中心市街地エリアの総面積

約2,207千m²

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況

無

5 中心市街地エリアの現状と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

JR亀岡駅を中心として、本市の中核にふさわしいにぎわいの創出が必要である。駅周辺における商業・観光・住居系などの高度な都市機能の集積と融合が求められている。そうした状況の中、平成22年にJR嵯峨野線の複線化事業が完了、平成27年に京都縦貫道全線が開通し、京阪神・中京エリアと直結するなど利便性が飛躍的に向上している。また、平成26年からは亀岡駅北土地区画整理事業による都市基盤の整備が進められており、事業区域内では、京都スタジアム（仮称）を核に商業施設やホテルの誘致が図られており、大規模な市街地整備が予定されている。新たなスポーツ振興・商業エリアとなる駅北地区と、亀山城址や旧城下町の歴史的景観を残す駅南地区の連携を図り、商業・業務機能の集積を図るとともに、保津川下りなどの観光資源

を活かしたまちづくりを推進し、にぎわいの創出と交流の促進を図ることで、本市・南丹地域の中心都市核として魅力的な市街地の形成を図る。

<参考数値>

◇ 人口

現状（平成27年国勢調査人口）

20,268人

◇ 若年者人口

現状（平成27年国勢調査人口10～24歳）

3,266人

◇ 事業所数

現状（平成26年経済センサス）

1,031所

◇ 従業者数

現状（平成26年経済センサス）

99,000人

◇ 主要駅の乗降客数

現状（平成27年京都府統計書（平成29年刊行）、年間鉄道乗車人員）

18,306人

6 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

並河駅周辺地区の概要

1 区域

位置図

2 中心市街地エリアの現況・特色

当地区は、人口の伸びも市内では堅調で、平成22年3月には、JR嵯峨野線の複線化が完了、平成27年7月には京都縦貫道全線が開通し国土軸の名神高速道路や舞鶴若狭自動車道路と接続し、京阪神・中京エリアと直結するなど周辺の利便性が飛躍的に向上している。本市の交通拠点の中で、JR並河駅から京都縦貫自動車道大井IC間までが最も近接しており、高い広域交通ポテンシャルを有する地区である。その地域特性により、並河駅前や都市軸である国道9号沿道などを中心に商業機能が発展している。

当地区では大井工業団地を主とした土地区画整理事業が完了しており、地域雇用の創出が図られるとともに、市外からの通勤者も多く、地域の活性化に貢献している。

また、大井町南部地区の土地区画整理事業が施行中であり、大規模工場が進出中である。また、一部では商業機能の集積を目指した土地活用型の事業展開が予定されている。
(地域の概況については<参考数値>のとおり)

3 中心市街地エリアの総面積

約1,531千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況

無

5 中心市街地エリアの現状と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

当地区は、千代川駅周辺地区とともに本市の北部都市核として、「いきいき産業と共存するまち」をまちづくりのテーマに、商業・工業・住居系の共存を目指した取組を図っている。

並河駅前や都市軸である国道9号沿道を中心に商業機能が発達しているが、広範囲に及んでいるため利便性にやや欠けるといった課題もあり、これを解消するため、地域の商店街によるまとまりのある商業活動を推進するとともに、高い広域交通のポテンシャルを有する地域特性を活かし、駅前から国道9号といった都市軸における商業の集積を

促進して地域経済の活性化を図っていく。

また、大井町南部地区の土地区画整理事業の進捗により、事業対象面積が約30ヘクタールと大規模な市街地整備を施行しており、商業・業務施設の集積を図るとともに、健康・文化施設を誘導することで駅前からの回遊性を高め、市北部都市核としての機能を強化することで、にぎわいの創出と地域の活性化を図る。

<参考数値>

◇ 人口

現状（平成27年国勢調査人口）

8,429人

◇ 若年者人口

現状（平成27年国勢調査人口10～24歳）

1,412人

◇ 事業所数

現状（平成26年経済センサス）

422所

◇ 従業者数

現状（平成26年経済センサス）

4,847人

◇ 主要駅の乗降客数

現状（平成27年京都府統計書（平成29年刊行）、年間鉄道乗車人員）

6,410人

6 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

千代川駅周辺地区の概要

1 区域



2 中心市街地エリアの現況・特色

当地区は、ＪＲ千代川駅から都市軸である国道９号までの間が、市内では最も近接しており、平成２２年３月に複線化が完了したＪＲ嵯峨野線と国道９号に沿って市街地が形成され、本市の北の玄関口として、駅前広場や千代川駅から国道９号へのアクセス道路である都市計画道路千代川駅前線や駐輪場が整備され利便性が格段に向上した。商業の状況としては、千代川町内において２商店街３４店舗（亀岡市商店街連盟加盟店）があり、駅前から都市軸である国道９号沿道に商業集積がみられる。しかし、地理的に広範囲に広がり、やや利便性に欠けるといった課題があるものの、地域の需要は確実にとらえており、隣接する南丹市等からの利用者も多いため、地区内需要の２～３倍の販売力をみせている。

（地域の概況については＜参考数値＞のとおり）

3 中心市街地エリアの総面積

約８１１千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況

無

5 中心市街地エリアの現状と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

当地区は、並河駅周辺地区とともに本市の北部都市核として、「いきいき産業と共存するまち」をまちづくりのテーマに各種整備が進められている。

ＪＲ千代川駅は比較的広域からの利用がみられ、駅前広場や千代川駅から国道９号へのアクセス道路である都市計画道路千代川駅前線や駐輪施設の整備が完了するとともに、ＪＲ山陰本線（嵯峨野線）複線化も平成２２年３月に完了し、利便性が向上しており、地域のターミナル駅としてのポテンシャルも向上している。本市の北の玄関口として、ＪＲ千代川駅と国道９号が本市で最も近接しているといった特性を活かし、今後、駅前から国道９号沿道商業施設との連絡機能の強化を図り、回遊性を高めることで、駅前地区としてのにぎわいの創出を促進し、市街地の活性化に努めていく。

<参考数値>

◇ 人口

現状（平成27年国勢調査人口）
7,898人

◇ 若年者人口

現状（平成27年国勢調査人口10～24歳）
1,146人

◇ 事業所数

現状（平成26年経済センサス）
209所

◇ 従業者数

現状（平成26年経済センサス）
1,655人

◇ 主要駅の乗降客数

現状（平成27年京都府統計書（平成29年刊行）、年間鉄道乗車人員）
4,416人

6 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

八木地区の概要

1 区域

南丹市八木町八木鹿草、同東久保、同杉ノ前、同上野

位置図

2 中心市街地エリアの現況・特色

当該地区は、JR八木駅の東側から大堰川までの南丹市八木町の中心的な場所に位置しており、駅前通（国道477号沿い）や国道9号沿いを中心に、商店街が古くから立ち並んでいるところである。

当該エリア周辺には、市役所八木支所や郵便局、病院等があり、日頃から人通りの多い地区である。

商店街の現況については、事業主の高齢化と後継者の不在が深刻化している。
（地域の概況については＜参考数値＞のとおり）

3 中心市街地エリアの総面積

約82千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況

無

5 中心市街地エリアの現状と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

—

＜参考数値＞

◇ 人口

現状（平成23年2月末、住民基本台帳人口）

640人

◇ 事業所数

現状（平成16年事業所・企業統計調査）

88事業所

6 お問い合わせ先

南丹市 農林商工部 商工観光課

TEL : 0771-68-0050

FAX : 0771-63-0654

E-mail : kankou@city.nantan.lg.jp

園部地区の概要

1 区域

北側：本町・若松町の字界を基本として、市街地再開発区域との統合的・一体的検討が必要な若松町の一部を含む。

西側：用途境界及び都市計画道路上本町佛大線（シンボルロード）沿道宅地を含む。

南側：用途境界及び都市計画道路新国道線沿道宅地を含む。

東側：用途境界及び本町商店街組織（字界）を基本とした区域を含む。

位置図

2 中心市街地エリアの現況・特色

園部は、園部藩3万石の城下町として、口丹波の政治、経済、文化の中心地として栄えた。

この間、国や京都府の地域機関の多くが南丹市園部町に立地することになり、現在も亀岡市、南丹市、京丹波町の2市1町圏域における国の官公庁の多くが南丹市園部町に立地している。

道路交通網は、京都市へは国道9号、大阪方面へは国道477号、若狭方面へは主要地方道園部平屋線で連絡されているほか、国道372号や京都縦貫度自動車道などの広域幹線道路が通っており、京都府中部地域の交通の要衝と位置づけられている。

公共交通機関は、京都市を起点とするJR山陰本線が南丹市園部町の東部から北部へ通過しており、綾部市、福知山市と連絡している。また、平成15年から行っていた京都駅から園部駅間の複線化事業は平成22年に完了し、京都市内へのアクセスは向上した。

一方、南丹市園部町内にはJRバス・京阪京都交通・市営による路線バスが運行されており、南丹市園部町内の主要道路をカバーしている。しかし、運行本数が少なく交通利便性は非常に悪い。

人口の減少、空洞化が進んでいる。また、高齢人口比が高く、高齢化は市全体のスピードを上回っている。しかし、学校誘致による学生の移住により、周辺には若い世代が住んでいる。

中心市街地活性化基本計画に基づき、重点整備区域の街づくり団体によるにぎわい創出の提言を受け、今後まちづくりとにぎわいの創出の両輪で事業が推進される。
(地域の概況については<参考数値>のとおり)

3 中心市街地エリアの総面積

約116千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況

平成11年7月23日策定済（旧法に基づく基本計画）

5 中心市街地エリアの現状と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

—

<参考数値>

◇ 人口

現状（平成23年2月末、住民基本台帳人口）

1, 144人

◇ 事業所数

現状（平成16年事業所・企業統計調査）

237事業所

◇ 従業者数

現状（平成16年事業所・企業統計調査）

1, 652人

◇ 空き店舗数

現状（平成17年）

7店舗

6 お問い合わせ先

南丹市 農林商工部 商工観光課

TEL : 0771-68-0050

FAX : 0771-63-0654

E-mail : kankou@city.nantan.lg.jp

馬堀駅前地区誘導エリアの概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

篠町馬堀駅前1・2丁目（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

近隣商業地域



2 誘導エリアの総面積

約37千㎡

3 周辺地域の現況

平成13年度に土地区画整備事業が完了し、駅前広場や駐輪施設が整備され、交通結節点としての機能が備わっている。住居系では高層住宅や戸建住宅が建築されており、商業面では小規模な店舗が立地している。周辺には大規模な住宅街や市立病院があり、37店舗（亀岡市商店街連盟加盟）を数える2商店街により利便性の高い、住環境の整ったまちなみを形成している。

当地区は、本市域で最も京都市に近接し、JR嵯峨野線の複線化による利便性の向上など地域特性を活かし、亀岡駅周辺地区に次ぐ東部都市核としての市街地形成を図るべく地区計画を定めており、地域のにぎわいを創出し、市街地の活性化を図る拠点として、商業・業務機能の集積地としての土地活用を誘導する。

4 主要駅（バス停）及び距離

JR馬堀駅、バス停：馬堀駅前（誘導エリア地区内）

5 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

馬堀駅周辺南部地区誘導エリア 1 の概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

篠町野条池の下ほか（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

近隣商業地域

位置図

2 誘導エリアの総面積

約6.1千㎡

3 周辺地域の現況

当地区には延床面積1万㎡を超える大規模小売店舗「平和堂（アル・プラザ亀岡）」が立地し、市内外からの集客によるにぎわいをみせている。周辺では国道9号沿道にさまざまな集客施設が立地し、充実した商業機能の集積がみられる。また、馬堀駅から国道9号までのアクセス道路である都市計画道路馬堀停車場篠線の整備が進められており、広域交通の結節点として高いポテンシャルを有する。

当地区は、本市域で最も京都市に近接し、広域交通の結節点としての特性を活かし、都市軸である国道9号沿道に広域の商業機能を誘導することで、当地区から馬堀駅前地区間の回遊性を高めることにより、にぎわいの創出と市街地の活性化を図る拠点として、商業機能の集積を誘導する。

4 主要駅（バス停）及び距離

◆ バス停：アル・プラザ前（誘導エリア地区内）

◆ JR馬堀駅（誘導エリア地区外） 当地区までの距離約900m

5 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

馬堀駅周辺南部地区誘導エリア2の概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

篠町篠合戦野ほか（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

第一種低層住居専用地域、準住居地域

位置図

2 誘導エリアの総面積

約39千㎡

3 周辺地域の現況

当地区の周辺では大規模小売店舗「平和堂（アル・プラザ亀岡）」をはじめ、国道9号沿道にさまざまな集客施設が立地し、充実した商業機能の集積がみられる。また、馬堀駅から国道9号までのアクセス道路である都市計画道路馬堀停車場篠線の整備が進められており、広域交通の結節点として高いポテンシャルを有する。

隣接地では、民間施行による大規模な土地区画整備事業等が実施されており、良好な住宅地の整備が進められることから、今後における人口の増加が期待される。また、京都市に近接した広域交通の結節点としての特性を活かし、都市軸である国道9号沿道に広域の商業機能を誘導することで、当地区から馬堀駅前地区間の回遊性を高めることにより、にぎわいの創出と中心市街地の活性化を図る拠点として商業機能の集積を誘導する。

なお、当地区においては、国道9号等の交通環境に与える影響、その他について検討、整理していく必要がある。

4 主要駅（バス停）及び距離

◆ バス停：篠（誘導エリア地区内）

◆ JR馬堀駅（誘導エリア地区外） 当地区までの距離約1,000m

5 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

亀岡駅北地区誘導エリアの概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

追分町下島ほか（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

商業地域、第一種住居地域

位置図

2 誘導エリアの総面積

約187千㎡

3 周辺地域の現況

平成26年からは亀岡駅北土地区画整理事業による都市基盤の整備が進められ、事業区域内では、京都スタジアム（仮称）を核に商業施設やホテルの誘致が図られており、大規模な市街地整備が予定されている。また、都市計画道路亀岡駅北線などの道路網の整備とともに、保津川かわまちづくり計画が進められており、中心都市核の一翼を担う魅力的な市街地整備が期待される。本市・南丹地域の中心都市核として土地活用が図られている駅南地区と一体的な市街地整備を図るとともに、周辺には保津川下り乗船場を有するなど、観光資源を活かしたにぎわいの創出と交流の促進により市街地の活性化を図るべく、商業・業務機能の集積を図る。

4 主要駅（バス停）及び距離

JR亀岡駅、バス停：亀岡駅前（誘導エリア地区外）

当地区までの距離約400m

5 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

亀岡駅南地区誘導エリアの概要

1 誘導エリアの区域

- ◆ 字名等
追分町谷筋ほか（中心市街地内）
- ◆ 現況用途地域
商業地域

- ◆ 字名等
内丸町ほか（中心市街地内）
- ◆ 現況用途地域
近隣商業地域

位置図

2 誘導エリアの総面積

約267千㎡

3 周辺地域の現況

亀岡市の玄関口として、歴史・文化・商業・観光など高度な都市機能の集積がみられる。地区内には西友、イオン等の延床面積1万㎡を超える総合スーパー、10商店街196店舗（亀岡市商店街連盟加盟）を有する市内屈指の商業集積力を示している。

当地区は、平成22年にJR嵯峨野線の複線化事業が完了、平成27年に京都縦貫道全線が開通し、京阪神・中京エリアと直結するなど利便性が飛躍的に向上しており、本市・南丹地域の中心都市核として、にぎわいの創出と市街地の活性化を図るべく、商業・業務機能の集積を誘導する。

4 主要駅（バス停）及び距離

JR亀岡駅、バス停：亀岡駅前（誘導エリア地区内）

5 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL : 0771-25-5033

FAX : 0771-25-4400

E-mail : mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」

並河駅周辺南部地区誘導エリアの概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

大井町並河前脇ほか（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

近隣商業地域、準住居地域、第一種住居地域

位置図

2 誘導エリアの総面積

約107千㎡

3 周辺地域の現況

大井町南部地区の土地区画整理事業が施行中であり、計画的市街地整備が進んでいる。また、平成22年3月にはJR嵯峨野線の複線化の完了や一般府道郷ノ口余部線の全線開通など、高い広域ポテンシャルを有する中心市街地である並河駅周辺地区内の本地区において、並河駅からの回遊性を高め、市北部都市核としての機能を強化すべく、商業・業務機能の集積を図る。

なお、当地区においては、国道9号等の交通環境に与える影響、その他について検討、整理していく必要がある。

4 主要駅（バス停）及び距離

- ◆ バス停：並河（誘導エリア地区外）当地区までの距離約300m
- ◆ JR並河駅（誘導エリア地区外）当地区までの距離約800m

5 お問い合わせ先

亀岡市 産業観光部 商工観光課（平成30年4月～）

TEL：0771-25-5033

FAX：0771-25-4400

E-mail：mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

※平成30年3月末までは「ものづくり産業課」